

# 広報 **ふじ** NO.225

発行・富士市役所  
富士市永田61-1  
編集・  
企画調整部広報広聴課  
【毎月5日と25日発行】

52.4.25 発行



みどりの街づくりをめざして市が、毎年春秋の二回行っている「緑と花の百科展」も今回が11回目。4月10日は好天に恵まれて、会場の市庁舎北側広場は約3万点の緑とおおぜいの市民でにぎわいました。



● 広報紙は早く配布してください ●

# 交通事故の死者ゼロをめざして…

## 第2次交通安全計画スタート

ことしも、4月5日から15日まで、春の交通安全運動が行われました。しかし、テレビや新聞は毎日いたましい交通事故を報じ、いっこうに後を断ちません。富士市では、交通安全対策会議が新

たに昭和55年度までの第2次交通安全計画をたてて陸上交通の安全についての総合的な施策をまとめ、市民総ぐるみの長期にわたる根づよい交通安全対策を推しすすめていくことになりました。

富士市交通安全対策会議

### 長期の根強い市民総ぐるみ運動で…

こんどの計画は、去る46年から50年まで行われた第1次交通安全計画の考え方を基本にしたもので、交通事故による死者を無くすために交通弱者といわれる歩行者や自転車の利用者、特に子どもと老人、身体障害者などが安心して通行できる交通環境をつくり、長期にわたり市民総ぐるみによる運動を展開していくことが最重点にとり上げられています。そのためには歩道や自転車道、信号機等の整備や増強をはじめ交通安全に対する認識を一般に深め、交通ルールを守り、被害者を救済するための対策などが総合的に盛り込まれています。



【春の交通安全運動の第1日目、街頭で交通安全のチラシを配る渡辺市長】

### 先ず交通環境の整備を！

そこで、まず第1に交通環境の整備がとり上げられています。当市は産業、経済、文化の発展により、いちぢるしく都市化が進んでいるため人口の増加にともなって自動車の保有台数も急激に増加し、昭和45年度から5か年間で人口1.1倍に対し、自動車は1.3倍にも増え、更に増加す

る傾向にあります。このような情勢の中で、道路を機能別に分類し、渋滞のはげしい国道など市内の道路全般についての路面の改良や踏切など混雑する道路施設の改良、歩道、立体横断施設、中央分離帯などの整備とさらには信号機、道路反射鏡、防護柵、道路標識、横断歩道などの交通

安全施設を更に充実していく必要があります。また、交通規制取締りなどについては、歩行者や自転車利用者などの安全確保を重点とした総合交通規制の推進と死亡事故を無くすための速度制限、追越禁止、駐車禁止などの規制を大巾に拡大し、事故に直結する飲酒、暴走など悪質運転や違法駐車、道路の不正使用の取締りを強化していくことにしていますこのためには、都市計画、都市交通計画の一環としての駐車場整備や、すでに吉原地区と富士駅周辺地区、富士見台団地内で実施している都市総合交通規制を更に伝法地区や鷹岡地区、広見団地、今泉地区などに広げるとともに、こどもの遊び場などについてもこまかい計画が盛り込まれています。

#### 市内の自動車保有台数と免許取得者

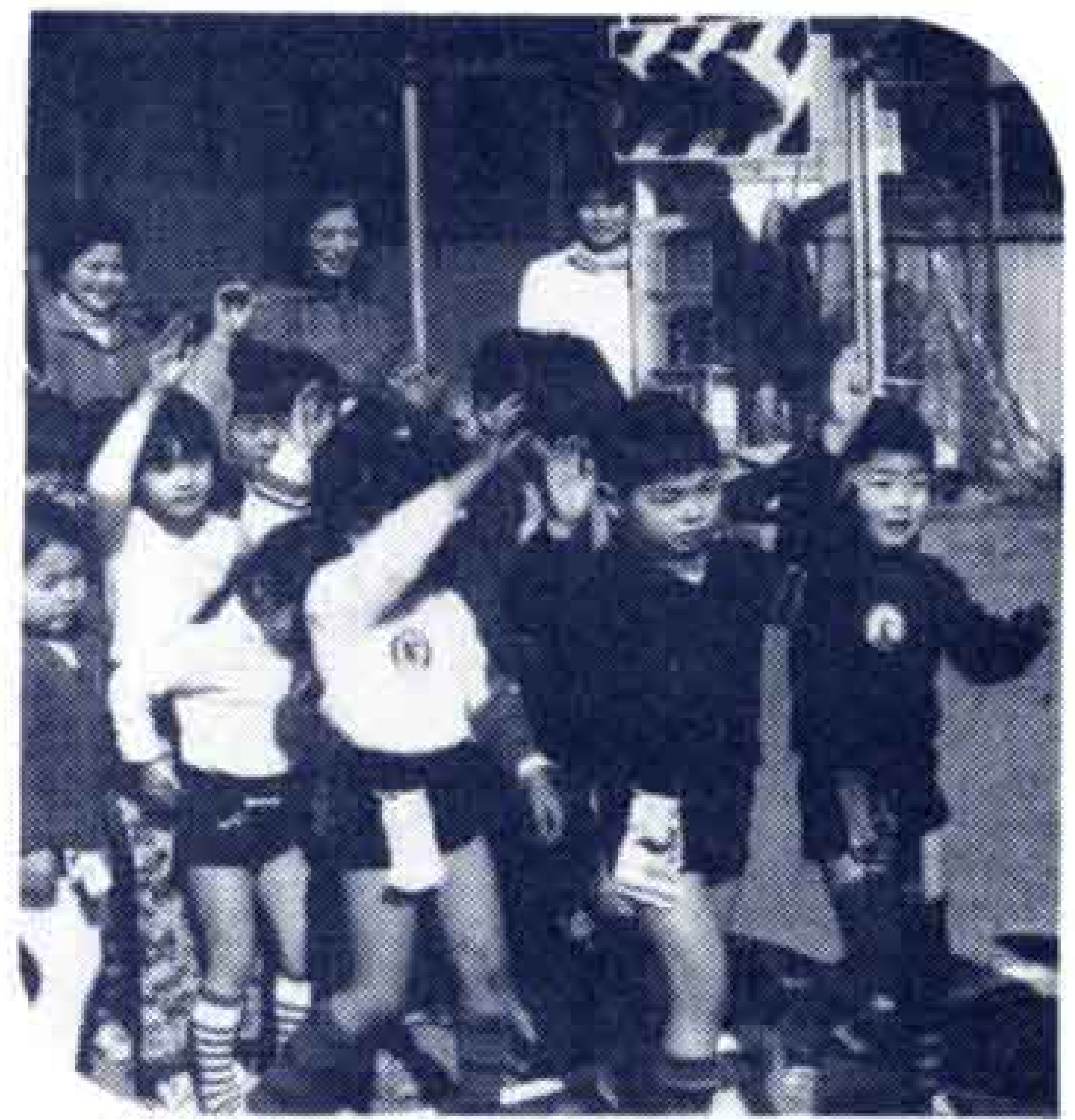
年	人口	保有台数 (含二輪)	運転免許取得者数 (含原付)
45	185,641人	64,388台	53,200人
46	190,068	68,697	56,000
47	192,790	74,279	61,000
48	197,056	77,424	65,755
49	199,807	80,911	67,000
50	201,892	84,669	68,924
55(予測)	217,900	107,000	82,000

## 安全対策の基本—交通安全教育を

次に、第2の施策としては、交通安全教育がとり上げられています。

当市の交通事故による死者は、過去の最高を記録した昭和45年の56名をピークに第1次交通安全計画の強力な推進と徹底した車社会における交通安全教育の推進などによって年々減少してまいりました。しかし、昭和49年から再び上昇傾向に転じつつあるので、これを更に4分の1から0にするためには学校教育や社会教育の場を通じて継続的にとり上げていき、民間団体の育成強化や市民総ぐるみの交通安全運動により安全意識を高め、交通事故の減少傾向を定着化し

ていく必要があります。このためには、今後積極的なPR活動を続けていくとともに、幼児交通安全クラブ（リスさんクラブ）の充実強化や交通安全母の会の結成、地域や職域における交通安全会の組織結成の指導強化などもとり上げられています。



「リスさんクラブの充実強化をはかる」

### 市内の人身事故発生状況

年	発生件数	死者	傷者	46年を基準にした指数
46	1,372件	43人	1,772人	100%
47	1,048	31	1,330	76
48	881	37	1,093	64
49	923	28	1,103	67
50	967	28	1,185	70
計	5,191	167	6,483	

## 深刻化してきた被害者の救済対策

第3としては、交通事故被害者の救済対策推進が考えられております被害者の困窮はいまや大きな社会問

題となってきており、被害者や家族に深刻な影響をおよぼしている現状から被害者に対して救急体制の整備

や交通事故相談を通じて援護活動などを行っていく必要があります。このためには、救急搬送や無線連絡体制を確立し、救急医療施設の整備、更には交通事故相談活動の充実強化などを積極的に推進するほか、市民交通傷害保障制度の充実や交通遺児等に対する援助も必要とされます。現在、当市で行っている市民交通傷害保険の加入促進と福祉手当の支給を更に一步前進させて、遺児の自立、助長を図るための援助を充実することなどが内容となっています。

### 類型別事故発生状況

(昭和50年度)

種別 区分	種別				計
	人対車両	車両相互	車両単独	踏切	
全人身事故	276人	617人	73人	1人	967人
死者	9	13	6	0	28
負傷者	282	803	98	2	1,185

## 市民交通傷害保険に加入しましょう

ことし3月末現在、市内で発生した交通事故による人身事故は253件うち死亡者9人、負傷者は319人にのぼっています。いつあうかわからないこのような交通事故災害に備えて市民全員が交通傷害保険に加入しておきましょう。

市では、庁舎2階の市民課窓口でいつでも加入手続を受付けていますので、まだ、この保険に加入していない人は早めに加入しましょう。

掛金は年間1人360円です。



# 昭和52年度 市民と行政のパイプ役 市政モニターと消費生活モニター決まる

昭和52年度の市政モニターと消費生活モニターが決まり、このほど、渡辺市長から委嘱状が手渡されました。それぞれのモニターは、来年3月末まで市民のみなさんの代弁者として活躍していただくこととなります。

## ◇市政モニター

市民の声を市政に反映するため、市は去る45年度からこの制度を行っています。市政モニターは、一般市

民の中から応募していただいた市民の代表者で、日ごろ市政について感じていたことや建設的なご意見などをお寄せいただくため、ことしも25人の方が委嘱されました。

### ●市政モニター（敬称略）

阿部正幸（久沢）伊藤智隆（今泉2）遠藤まり子（増川）大石真江（松岡）大塚恭子（八王子1）尾関武枝（広見町6）門平富夫（水戸島上）川口幸夫（城山町）菊地利男（比奈）菊池馨（原田）後藤利彦（神谷）鈴木千鶴（今井）高久美子（富士見台1）館林芳子（西木の宮）深津照美（東比奈2）松本幸恵（同）三井千代子（本市場）村松一子（宮島）山田悟（中里3）矢部聖子（岩本）米川英則（厚原）和田美矢子（今井本町）渡辺光司（今宮）渡辺初蔵（吉原上中町）渡辺松江（原田）



【4月12日に開かれた第一回市政モニター会議】

## ◇消費生活モニター

消費生活に関するいろいろな問題について、おおぜいの消費者のご意見や実態をつかんで消費者のみなさんと共に考え、また、得た知識を活用して市民のみなさんが「かしこい消費者」となってもらうためにつくった制度で、市はモニターから出されたご意見や情報を消費者行政に反映していきます。ことしは、一般から応募のあった52人の方が委嘱されました。なお、消費者の利益を保護するために置かれている富士市消費生活相談員には池田かつさん（中里）が委嘱されました。池田さんは、去る48年から相談員に委嘱されており今回が5年目。

藤良子（本市場新田）菅谷晴美（松本）沢田喜見（同）中沢富子（下横割）大西直恵（宮下）佐野米子（上横割）望月つや子（森島）今野富子（五貫島）遠藤紀子（新浜）大竹よし子（同）立田まさ子（宮島）大石芳江（前田）山口豊子（中野1）太田幸枝（同）宇藤清子（青島）望月三重子（南町）鈴木文江（西国久保）青司美枝子（中央町3）石丸恵美子（広見本町）宮川きみ子（同）藪田迪子（広見西本町）杉山長子（広見

本町）牧野倫子（今泉8）原富士子（今泉）四十川民子（吉原緑ヶ丘）川口きくゑ（新橋）鈴木静枝（富士見台2）紺野幸子（同7）坂田ゆき（同6）赤池禎子（吉原上中）阿部敏子（上田端）深沢秀（吉原上中）吉野林子（田端）後藤慶子（南滝川）渡辺理恵子（原田中島2）石川房子（西比奈3）佐野まち子（同2）大塚弘子（増川）杉山節子（中里）浅羽百江（江尾1）藤井しづ（鈴川浜町西通り）遠藤たか子（鈴川）

### ●消費生活モニター（敬称略）

佐野のぶ子（厚原）松井敏子（久沢）望月秀子（入山瀬）渡辺久子（久沢）河合芳子（同）逆井宏子（天間）後藤慶子（岩本）齊藤和子（同）田杉恵美（松岡）草野俊子（蓼原）近



【渡辺市長から委嘱状を受ける消費生活モニター、円内は池田さん】

造林シリーズ【最終回】

# 春の植栽造林の適期

春は造林の適期、あちこちで植樹祭が行われたり、庭の片隅に苗木を植えて新入学や結婚式を記念したりして、みどりの環境をつくるもっともよい季節です。とくに野山への植林は面積、効果ともに植林の王者といえましょう。現在市内の民有人工林は7500<sup>ヘクタール</sup>あり、市の総面積の約3分の1に当ります4~5年生主伐の輪伐を実施し植栽をしていきますと毎年160<sup>ヘクタール</sup>伐採し造林することになりますが、現状は幼令林が多いので20~30<sup>ヘクタール</sup>の植伐にとどまっております。

それでは、これから植栽して立派な森林を仕立てることについて重要なことを2~3ふれてみましょう。

## (1) 適地に適木を植えること

まず大事なことは、その土地に合った樹種を選ぶことです。これを適地適木といって、造林ではもっとも基本的なことです。木は樹種によって、土壌や気象条件に対する性質が違います。たとえば「スギ」は養分に富んだ湿気のある土地が適し「マツ」は乾燥した土地でもよく生長します。「ヒノキ」はその中間ぐらいです。したがってその土地の条件に適した木を植えることですが、富士市の民有林では、木材価格や成長と考え合わせると大部分の土地は「ヒ

ノキ」の造林が適当です。

## (2) 良い苗木を選ぶこと

苗木には、実生苗とさし木苗がありますが、いづれにしても木の一生は、まづ良い種にはじまり、苗木の良し悪しが、造林成績に大きな影響を与えることとなります。素質のよい苗木をつくるためには、質のよい親木を選んで、種やさし穂を取ることが大切です。このために法律にもとづいて母樹林が各地に指定されています。さらに昭和32年から国の事業として「スギ」「ヒノキ」「マツ」などの品種改良がすすめられています。採種園や採穂園などが国や県の育種場につくられています。一般の造林用苗木を満たすところまでできていませんので、母樹林から県が直営で採集して養成した系統確認苗木を使って造林することが一番現実的なよい方法です。

## (3) よい植え方をすること

いかによい苗木でも、植え方が悪くて枯れてしまったりは問題になりません。ていねいに植え付け1本残らず活着し、植えた年から盛んに生長するようにしたいものです。また植え付け前に「地ごしらえ」といって雑草や低木を刈り払ったり、木の枝や葉など

をよく整理し、あとの仕事がやりやすいように規則正しく植えます。また、植栽本数は、どのような木材を生産するか、そのためにどんな仕立てをするかということからも植付け本数が違ってきます。たとえば、植付け本数を多くし、そのあとの間びき(間伐)をあまりやらないで、密植仕立てをしますと、細長い、年輪の細かい木材が生産されます。反対に、少なく植えて疎植仕立てにすると幹は太く年輪のあらい木材が生産できます。このほか、植付け本数を決めるには土地の肥えぐあいや交通の便なども関係してきます。森林づくりは、長い年数をかけて行うものですから、どのように仕立てていくか、最初の計画が大切です。市内で「ヒノキ」柱材生産には1<sup>ヘクタール</sup>4000本くらい植え、伐採の時点で1000本~1500本くらいに仕立てるのがよいと思われま。また、植栽のあと熱心な人は肥料をやって成長を助け、よい管理をしています。



## わたしたちの手で美しい豊かな森林を...

富士市は全市の約50<sup>ヘクタール</sup>が森林で1万700<sup>ヘクタール</sup>あります。森林はわたしたちの生活に深いかわりあいをもっております。森林について正しい知識をもち、大切に育てて森林をわたしたちの生活に役立つように利用することを考えなければなりません。森林の役割りを大きくわけると木材

をはじめとして、いろいろな林産物が生産される効用と水源を守り、国土を守り、生活環境を守る効用のふたつになります。日本では現在、年間1億1千万立本<sup>立方メートル</sup>(1人約1立方<sup>メートル</sup>)の木材が消費されていますが、その65<sup>ヘクタール</sup>は輸入材にたよっています。世界的に見て木材は不足する傾向にあ

りますので、立派な活力あふれる森林に仕立てて良い木材の生産を上げるとともに澄んだ空気、きれいな水災害の防止、街の安全などにおおいに役立つ森林を大切に育て利用するためにこれからもみんなで考えていきたいものです。

# 暖かい善意をふとんにこめて… ことしも青少年の家のふとん修理 =今泉若返り学級=

今泉若返り学級のおとしより達が市立丸火青少年の家のふとん修理をはじめて3年一。ことしも4月12日に今泉公民館で、ふとんの修理を行いました。

今泉若返り学級は、今泉公民館が行っている高令者学級で、現在、会員は男女合わせて約70人。毎月お茶を習ったり、健康管理や修養などの講座を開いたりするほか、県内の史跡めぐりや囲碁大会などを開いてお互いに親睦を深めています。

3年前、修業式を丸火青少年の家で行ったとき、子ども達の使うふとんが汚れたり、いたんだりしていたため、その後、糸と布切れを持って修理に行ったのがきっかけで、それ以来、毎年ふとんの修理をおこなって、ここを利用する青少年団体から大変喜ばれています。たまたま、この話を聞いた同じ今泉第1地区の婦人会が協力を申し出て、最初のうちは一緒に丸火まで出かけて食事の仕

度をしておとしよりの労をねぎらっていましたが、ことしは、地区内の一般家庭をまわって使っていないふとんの寄付をあおぎ、ふとんと現金を援助してくれました。思わぬ協力に喜んだ若返り学級のおとしより達は、さっそく綿を打ち直し、新しい布地を買って約20枚ほどのふとんを

つくり、青少年の家へトラックで運びました。おとしより達は、昨年70枚位のふとんを修理しましたが婦人会とわたし達のこのささやかな善意が子ども達に通じて、みんなが立派なおとなになり、よい市民になってくれれば……と楽しそうにふとんづくりにはげんでいました。



【おとしよりが善意のふとんづくり】

## 5月の



休日当直医院は、富士市医師会が急病者のために定めたものです。当直医院は急病のときだけご利用ください

### ■5月1日

外科 戸田医院(横割1 63-5213)  
 芦川病院(中央町2 52-2480)  
 産婦人科 長野医院(柚木 61-1907)

### ■5月3日

外科 快明堂医院(中央町1 51-0301)  
 米山病院(吉原4 52-3060)  
 産婦人科 中央病院(本市場61-8800)

### ■5月5日

外科 田辺医院(本市場 61-8410)

外科 渡辺病院(錦町1 51-3751)  
 産婦人科 望月医院(西比奈34-0445)

### ■5月8日

外科 神谷医院(川成島 61-5900)  
 吉原病院(南町 52-0780)  
 産婦人科 池谷医院  
 (水戸島本町 61-0872)

### ■5月15日

外科 松本医院(久沢 71-2570)  
 芦川病院(中央町2 52-2480)  
 産婦人科 武田医院(西宮島63-5122)

### ■5月22日

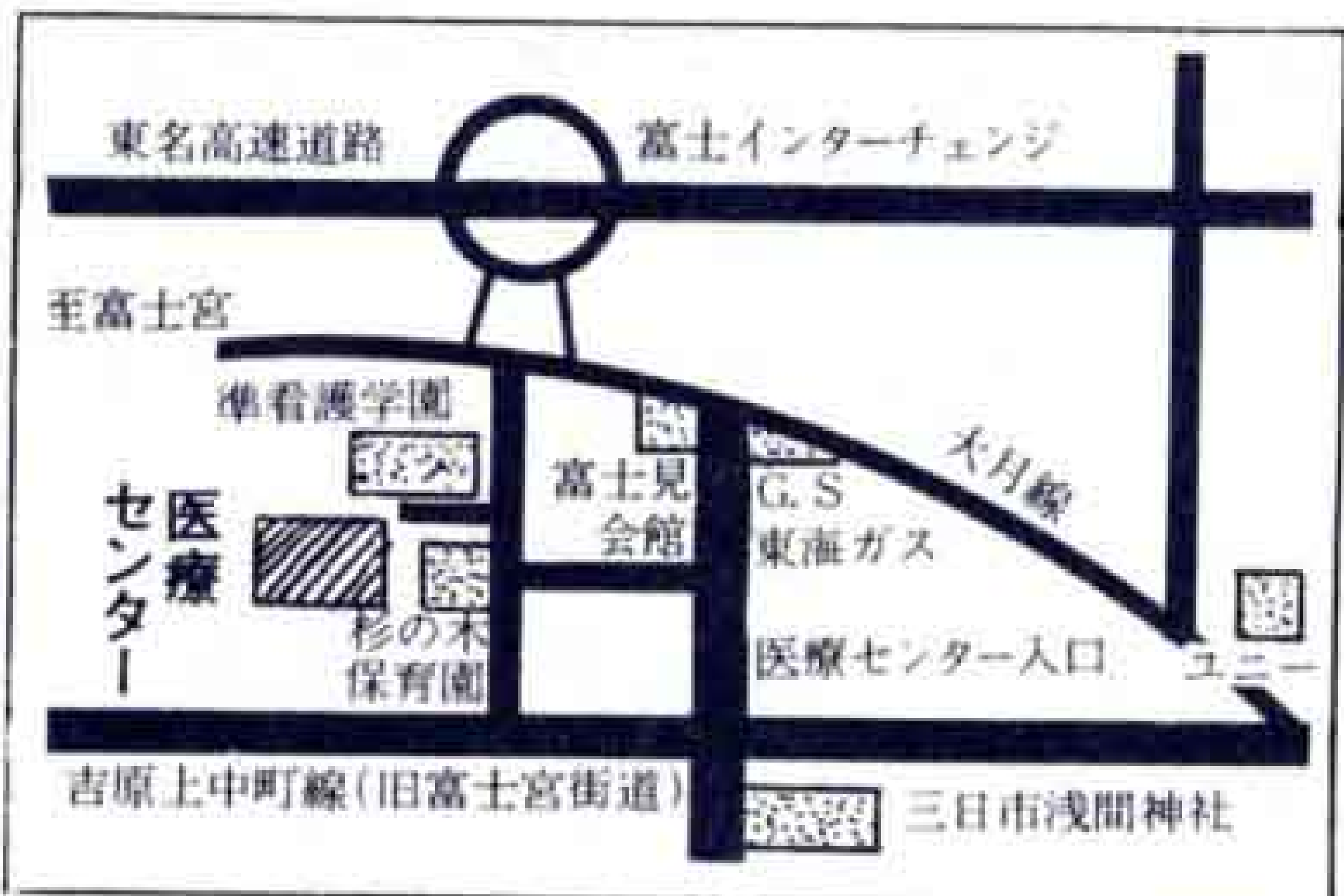
外科 清河医院(広見町6 52-6212)  
 中央病院(本市場 61-8800)  
 産婦人科 北西医院(本市場61-0119)

### ■5月29日

榎村医院(柚木 63-8881)  
 米山病院(吉原4 52-3060)

産婦人科 遠藤医院(吉原3 52-1941)

※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間は午前9時から午後5時までです。ただし受付時間は4時30分までです。医療センターでは、日曜祝祭日以外は行っておりません。



医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町)」電話は52-3104です。

# ガタガタふじ

## 富士見台小学校が開校

市内のマンモス団地、富士見台団地内に市立富士見台小学校が完成し、4月16日に落成開校式を行いました。富士見台小学校は、市内で21番目の小学校で、鉄筋コンクリート造3階建の立派なもの。新校舎には、すでに1年生から6年生まで430人の児童が入学して、新学期がスタートしています。



【風船を上げて開校を祝う児童】

## 車をおりてもガタガタ

いつ起こるかわからない東海沖地震—そのときになってあわてないようにあらかじめ体験してもらおうと4月1日から1週間、起震車が市内を巡回しました。市内23か所の会場には貴重な体験をしておこうと、サラリーマンや主婦がおおぜい集まり、震度4~6の地震を体験しました。体験をした人の中には車をおりてもまだガタガタふるえているこどももいて、あらためて地震のおそろしさを話し合っていました。



【うわーすごい!】

## 丸火自然館に“おおわし”のはく製

丸火自然館にこのほど、おおわしのはく製が展示され、早くも子ども達の人気を集めています。このおおわしは天然記念物の保護鳥で、捕獲が禁止されているため大変貴重なもの。先ごろ田子浦港の付近で高压電線に触れ感電死して落ちてきたのを通りがかりの小池充さん(伝法)が見つかり、市の林政課へ届けました。はく製に復元したおおわしは、いかにも鳥の王者らしい風格で教材としても貴重なものとなつています。



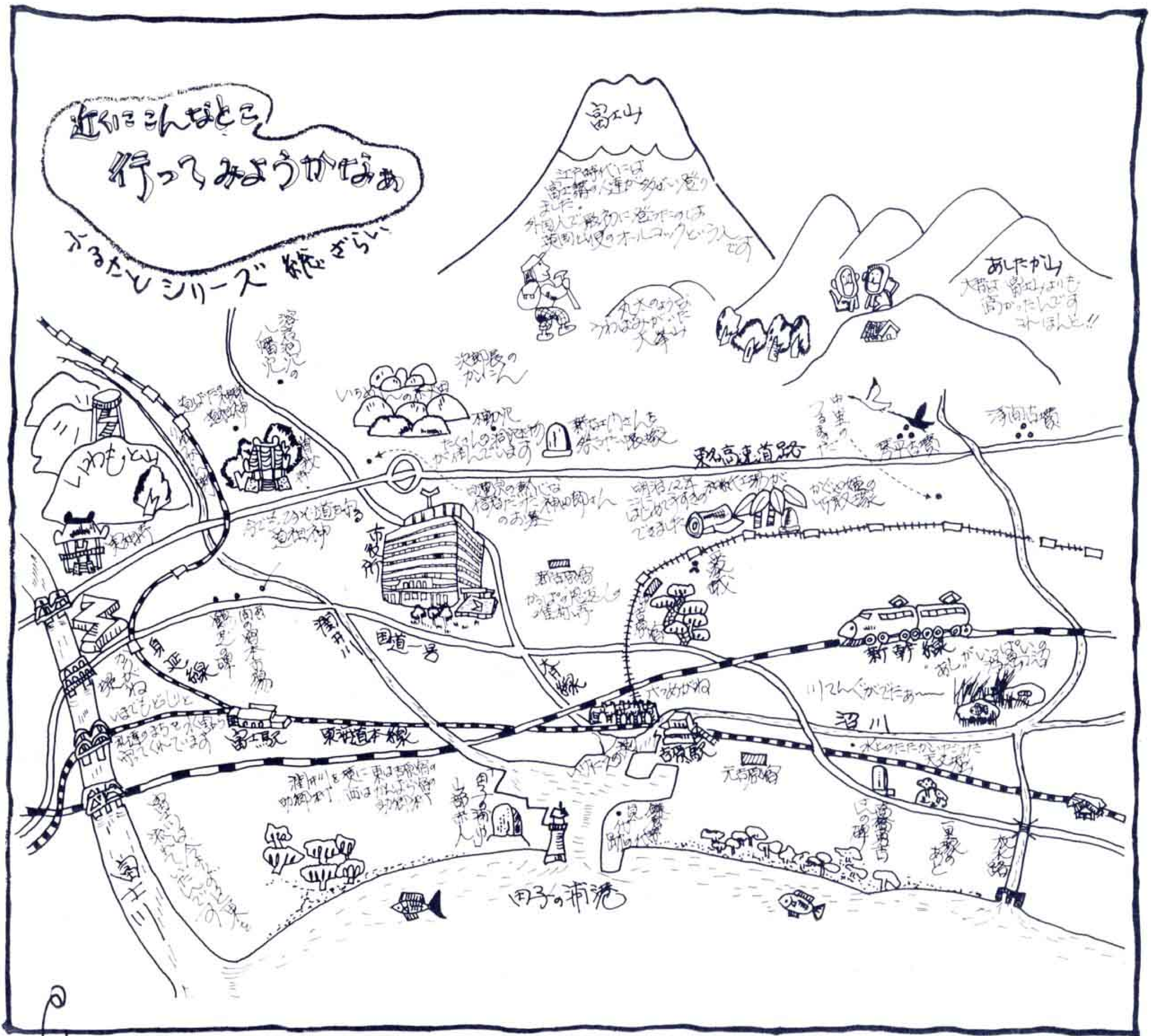
【見事なおおわしのはく製】

## “ロータリーの森”を市に寄贈

市が市民の憩いの場として造成している市内岩本山公園の一面に、富士ロータリークラブが創立10周年を記念してつくったロータリーの森が完成し、4月6日現地で渡辺市長に目録が贈られました。ロータリーの森はサクラやキンモクセイ、サルスベリなど大小1000本ちかい木が植えられ、このほか芝生の広場やレオの森などもあります。この日はテープカットのあと渡辺市長と石井会長が記念の植樹をしました。



【ロータリーの森に記念植樹】



ふるさとシリーズをはじめたのは、2年前の昭和50年3月から。私達のまちの歴史や昔ばなし、史蹟などをのせてきました。今回で終ります。おもしろかつたかな。それとも、つまんなかったかな。

ふるさとシリーズの総ざらいとして、イラストマップにしてみました。みんなの家の近くにも、なにか見つかりましたか。

昔の人達が残した大切な宝。さあ、探検にでかけてみましょう。

### 健康教室の オリエンテーリング

思うぞんぶん野山をかけめぐり丈夫な体をつくろうと、中学校1年生を対象に、丸火の少年自然の家で健康教室を開いています。

健康教室は、だいたい2~3日間くらい。地図と磁石をたよりにゴールをめざすオリエンテーリング。学級づくりについての話し合い。そして、夜はキャンプファイヤー。ある男子生徒「毎日こうだといいのになあ。」

